

2020年12月吉日

TBWA\HAKUHODO と専門家の有志が制作 SNS で発信できる！災害対策集第四弾 『コロナ禍でもすぐできる！冬の荒天への備え 2020 年版』を公開

TBWA\HAKUHODO（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：今井明彦）と FUKKO DESIGN（本社：東京都渋谷区 代表理事：河瀬大作）は、冬の荒天の際に、どのようにすべきかまとめた『コロナ禍でもすぐできる！冬の荒天への備え 2020 年版』を発表しました。

大雪で 気をつけること

コロナ禍でも
すぐできる！

冬の荒天への備え2020年版 雪道を歩くときの注意点

転びやすい場所をチェックしよう

横断歩道



白線部分は水が染み込みます、凍結していることがあり危険です。

バスやタクシー乗り場



雪が踏み固められて、滑りやすくなっています。

歩道と車道の段差



道路脇の雪はとけにくく、車の出入りがあると雪が踏み固められて危険です。

坂道・階段や歩道橋



坂道や階段は特に滑りやすいので要注意。歩道橋の雪もとけにくいので危険です。

歩道脇の側溝や障害物



側溝や障害物、水路が雪でわかりにくく、足をとられたり転落する危険があります。

タイル張りの床



濡れていて滑りやすく危険です。靴の裏の雪を落とすこともポイントです。

歩き方・転び方のポイント

特に普段雪の少ない地域の方は要チェック



歩幅が大きいと体の揺れが大きくなり、転倒しやすくなります。

歩幅は小さく！



ポケットに手を入れない！

急な動きに対応できず、大ケガにつながります。



万一滑ったら、尻もちをつくように転ぶと頭を打ちにくくなります。

転ぶときはお尻から！



地面に垂直に足を踏み出し、重心はやや前に。足の裏全体を路面につけて歩きましょう。

靴の裏全体で！

雪の日の服装に気をつけよう

雪の日の革靴やスニーカーは転倒の危険が高まります。

撥水性や防水性のある長靴や**底の滑りにくい靴**を選びましょう。

万が一転倒したときのために、**厚手の防寒着と手袋、帽子**も着用しましょう。



- 帽子
- マスク
- 厚手の防寒着
- 手袋
- 底の滑りにくい靴

アルコール消毒液も携帯し、必要に応じて、手を消毒しましょう。

© FUKKO DESIGN (V)OAD 協力：荒木健太郎（雪研究者）、近藤暁（気象予報士）、佐々木晶二（元内閣防災官事務職員）、市川衛（医療の翻訳家）

新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しない中、今年は九州を中心に各地で豪雨による災害が発生しました。また、夏は全国的に猛暑が続き、多くの方がコロナ禍での熱中症予防に苦慮しました。そのような事態を受け、一人でも多くの方の命と健康を守る手がかりにしていきたいと思いますとの思いから、TBWA\HAKUHODO と FUKKO DESIGN をはじめとする有志チームは、「大雨&台風への備え 2020 年版」「熱中症への備え 2020 年版」「天気急変への備え 2020 年版」と、コロナ禍での自然災害への具体的な対策をまとめた対策集を制作し発信してきました。

台風シーズンが終わって自然災害が落ち着くと思われる方が多いかもしれませんが、冬の荒天にも注意が必要です。12月に入り、日本海側を中心に大雪に見舞われましたが、今後も冬が本格化し、雪国だけでなく全国各地で大雪や暴風雪などの雪害の可能性があります。そこで、第四弾として、「コロナ禍でもすぐできる！冬の荒天への備え 2020年版」を制作することになりました。今回、TBWA\HAKUHODOのメンバー、元内閣府防災担当官房審議官の佐々木晶二氏、災害支援団体の調整などを行うNPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワークの明城徹也氏ら前回までのメンバーに加え、長年北海道で天気予報を行っている気象予報士の近藤肇氏も参加し有志のチームを結成。気象や医療の専門家などへの取材を経て、冬の荒天に対してどのようにすればよいか、さまざまな視点からまとめました。



取材および画像制作風景

TBWA\HAKUHODOは、2020年度より、地球環境や社会課題に対しての取り組みである「ソーシャルグッド」を、会社として、そして社員一人一人が積極的に活動するための『TH for GOOD』プロジェクトを社内向けに開始しています。このたびの『コロナ禍でもすぐできる！冬の荒天への備え 2020年版』においても、『TH for GOOD』プロジェクトの一環として社員の有志チームの活動を後押ししています。

『コロナ禍でもすぐできる！冬の荒天への備え 2020年版』は、「①大雪で気をつけること」「②暴風雪で気をつけること」の大きく2つに分けてまとめられています。それぞれ、コロナ禍であることを前提として、どのような危険性があり、どのようなものを準備し、そしてどのような情報を見たら良いか、さらに、いざ被害が発生した際にどのように行動し、避難する際はどのようにするべきかなど、さまざまな側面から私たちがすべきことを体系的にまとめています。そして、一人一人が理解しやすいものであることはもちろん、周りの人々にも伝えやすいように、SNSで拡散させやすいデザインで制作しました。

<大雪で気をつけること>

「雪道を歩く時の注意点」

転びやすい場所や、転びにくい安全な歩き方などをまとめています。

「大雪の日に必ず確認すること」

車の運転の注意点や、屋外で気をつける内容について説明しています。

「大雪への備えを確認しよう」

雪対策として家や車の中に置いておくべき備蓄や、雪かきなどの対策方法について紹介しています。

「最新の情報を入手しよう」

大雪の状況をどのようにチェックすべきかまとめています。

<暴風雪で気をつけること>

「暴風雪の危険性を確認しよう雪道を歩く時の注意点」

ホワイต์アウトや停電など暴風雪による危険について解説しています。

「屋外で暴風雪になったときの対処法」

屋外にいる時や、運転中などに暴風雪にあった場合の対策をまとめています。

「暴風雪への備えを確認しよう」

暴風雪の際の、家の中の備蓄や車の備えについて紹介しています。

「最新の情報を入手しよう」

暴風雪の状況をどのようにチェックすべきかまとめています。

ひとえに大雪・暴風雪といっても、お住まいの地域や状況などによって被害の形は異なるため、すべてを網羅することはできませんが、冬の荒天への備えとして最低限知っておくべきことをまとめています。特に大雪については都心で発生するケースも踏まえて、雪対策に詳しくない方にもわかるようにしています。是非、この画像をご活用いただき、大雪・暴風雪の際には命を助ける手掛かりにいただければ幸いです。

『コロナ禍でもすぐできる！熱中症への備え 2020 年版』

URL : https://www.tbwahakuhodo.co.jp/uploads/2020/12/201222_news_snow-guard.pdf

大雪で気をつけること

コロナ禍でもすぐできる! 冬の荒天への備え2020年版

雪道を歩くときの注意点

転びやすい場所をチェックしよう

横断歩道



白線部分は水が染み込まず、凍結していることがあり危険です。

バスやタクシー乗り場



雪が踏み固められて、滑りやすくなっています。

歩道と車道の段差



道路脇の雪はとけにくく、車の出入りがあると雪が踏み固められて危険です。

坂道・階段や歩道橋



坂道や階段は特に滑りやすいので要注意。歩道橋の雪もとけにくいので危険です。

歩道脇の側溝や障害物



側溝や障害物、水路が雪でわかりにくく、足をとられたり転落する危険があります。

タイル張りの床



濡れていて滑りやすく危険です。靴の裏の雪を落とすこともポイントです。

歩き方・転び方のポイント

特に普段雪の少ない地域の方は要チェック

歩幅が大きいと体の揺れが大きくなり、転倒しやすくなります。

ポケットに手を入れない!

急な動きに対応できず、大ケガにつながります。

万一滑ったら、尻もちをつくように転ぶと頭を打ちにくくなります。

転ぶときはお尻から!

地面に垂直に足を踏み出し、重心はやや前に、足の裏全体を路面につけて歩きましょう。

雪の日の服装に気をつけよう

雪の日の革靴やスニーカーは転倒の危険が高まります。

撥水性や防水性のある長靴や、底の滑りにくい靴を選びましょう。

万が一転倒したときのために、厚手の防寒着と手袋、帽子も着用しましょう。



アルコール消毒も有効です。必要に応じて、手を消毒しましょう。

© FUKUKO / ESIGN JVQAD 協力: 荒木健太郎 (雲研究者)、近藤肇 (気象予報士)、佐々木晶二 (元内閣防災官房審議官)、市川衛 (医療の翻訳家)

大雪で気をつけること

コロナ禍でもすぐできる! 冬の荒天への備え2020年版

大雪の日に必ず確認すること

車の運転はできるだけ控える

夏のタイヤでの雪道は極めて危険

雪道や凍結した道路では、夏のタイヤは冬タイヤに比べて1.6倍も滑りやすくなり、極めて危険です。雪が降る前に冬タイヤに交換したり、チェーンを用意しましょう。

1.6倍

❗ 冬タイヤやチェーンを装着していても絶対に安全というわけではありません。

事故が多発する場所を確認

降雪時・降雪後にどうしても運転する場合は以下の場所に要注意です。

坂道やカーブ

わずかな坂道やカーブでも滑る危険性が高まります。

雪道のわだち

車が抜け出せなくなったり、歩行者の人へ突っ込む危険があります。

白くなった雪道

降雪1cm以上だと雪が踏み固められて道路が白くなり、滑りやすくなります。

アイスバーン

降雪後は道路が透明や黒く凍結し、凍結がわかりにくく、非常に危険です。

交差点

雪が踏み固められ、極めて滑りやすくなります。

橋やトンネルの出入り口

突然路面状況が変化したり、部分的に凍結していることがあるため危険です。

屋外で気をつけること

雪・つららの落下

気温が上がると、建物の屋根や電線などから雪が落下してくることがあります。水を含んで重くなった雪でケガをする危険があります。建物や電線のそばは要注意です。

見通しの悪化

降雪時に風が強くと、数m先も見えなくなり、見通しが悪化します(視程障害)。すぐに店やコンビニなど安全な建物のなかへ避難を。

立ち往生

大雪や猛吹雪、吹きだまりで、車が立ち往生することがあります。やむをえず道路を利用する際は事前に必ず道路情報を確認してください。

雪崩

斜面沿いの山間の道路などで雪崩で車が埋まってしまう危険性があります。

着雪による停電

雪が着くこと(着雪)などにより電線が切れて停電が起こることもあります。特に大雪の日は停電対策を。

© FUKUKO / ESIGN JVQAD 協力: 荒木健太郎 (雲研究者)、近藤肇 (気象予報士)、佐々木晶二 (元内閣防災官房審議官)、市川衛 (医療の翻訳家)

大雪で 気をつけること

コロナ禍でも すぐできる! 冬の荒天への備え2020年版 大雪への備えを確認しよう

雪対策用品・備蓄

家の中の備え

●雪かき用スコップは必ず用意

一家にひとつは用意しておきましょう。アルミやプラスチックなどの軽い材質のものがおすすめです。

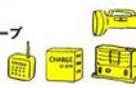
※雪が深いとプラスチックのスコップは破損する場合がありますので注意が必要です。



●家の中の備蓄を確認しよう

大雪時には、1週間以上も孤立したり宅配サービスが使えなくなることがあり、停電も長期化することがあります。寒さ対策や生活必需品などを確認しておきましょう。

- 防寒着
- 懐中電灯
- カセットコンロ
- ラジオ
- 使い捨てカイロ
- ポータブルストーブ
- 飲料水
- スマホ用
- 灯油
- 非常食
- 予備バッテリー



車の備え

天気の急変などにより、車が立ち往生することなども想定して、ガソリンを満タンにした上で車のなかの備えを確認しましょう。

- 防寒着
 - タイヤチェーン
 - 手袋
 - スノーブラシ
 - 毛布
 - スコップ
 - 長靴
- 特に雪の多い地域では
- スノーヘルパー
 - けん引ロープ



コロナ対策の ための必需品

- マスク
- 体温計
- アルコール消毒液



身の回りの雪対策

車のワイパーを立てる

ワイパーをそのままにしておくと凍結し、無理やり動かそうとすると故障することがあります。雪が降る前にワイパーを立てると、フロントガラスの雪かきもしやすくなります。



こまめに雪かきを

雪がたかさ積みもってしまつと、片付けるのが難しくなります。特に自宅の玄関まわりや車庫の入り口などはこまめに雪かきをしましょう。



早めに雪下ろしを

普段雪の少ない地域では、駐車場の屋根や雨よけなどが壊れやすくなります。早めに雪下ろしをしましょう。



家屋の屋根の雪下ろしは専門の業者に依頼しましょう。やむをえず自身で行う場合には必ず2人以上で命綱をつけ万全の態勢で行いましょう。

凍結防止剤を使う

自宅の玄関まわりや車庫の入り口などに凍結防止剤を使うと有効です。



! 湯や水をまくと凍結するおそれがあるので危険です

FUKKO・ESIGN・JVQAD 協力：荒木健太郎（雪研究者）、近藤肇（気象予報士）、佐々木晶二（元内閣防災官房審議官）、市川衛（医療の翻訳家）

大雪で 気をつけること

コロナ禍でも すぐできる! 冬の荒天への備え2020年版 最新の情報を入手しよう

雪の情報をうまく集めよう

雪の状況は刻々と変化します。最新の道路交通状況・気象情報を確認して、早めに備えておきましょう。



スマホアプリ

- NHK ニュース防災
- NHK ニュース全般
- Yahoo!防災速報
- 災害情報など
- Yahoo!天気
- 気象情報

SNSアカウント

住まいの地域の自治体アカウントなどをフォローしておきましょう。

- 自治体 都道府県や市区町村
- 道路 高速道路や交通機関

道路情報

やむをえず車を運転する場合には、必ずWebサイトやラジオで道路情報を確認しましょう。ライブカメラなどでも道路状況を確認できます。



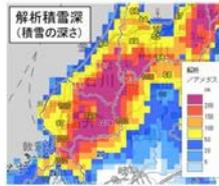
公共交通情報

大雪が予想される場合には、事前に発表される鉄道や航空会社の運休計画を必ず確認しましょう。無理をせずにできるだけ移動は避けましょう。



いまとこれからの雪を確認しよう

気象庁 現在の雪 検索



気象庁 天気分布予報 検索



気象庁 早期注意情報 検索

5日先までの警報級の大雪の可能性が[高][中]の2段階で発表されます。最新の警報・注意報とあわせて確認しましょう。

参考：気象庁HP発表例

東京近畿地方の早期注意情報（警報の可能性）
東京地方では、8日夜遅くまでの期間内に、大雪警報を発表する可能性があります。

種別	対象地域	発令日時	解除日時	種別	対象地域	発令日時	解除日時
大雪	関東	12月15日 10時	12月15日 18時	大雪	近畿	12月15日 10時	12月15日 18時
大雪	中部	12月15日 10時	12月15日 18時	大雪	中国	12月15日 10時	12月15日 18時
大雪	四国	12月15日 10時	12月15日 18時	大雪	九州	12月15日 10時	12月15日 18時
大雪	北海道	12月15日 10時	12月15日 18時	大雪	沖縄	12月15日 10時	12月15日 18時

! こんなときは厳重に警戒!

ニュースで以下の言葉が聞いたら、厳重に警戒してください。備えを確認しましょう。

- 気象庁の臨時会見
- 数年に一度の大雪
- 不要不急の外出を控える

FUKKO・ESIGN・JVQAD 協力：荒木健太郎（雪研究者）、近藤肇（気象予報士）、佐々木晶二（元内閣防災官房審議官）、市川衛（医療の翻訳家）

暴風雪で
気をつけること

コロナ禍でも
すぐできる! 冬の荒天への備え2020年版

暴風雪の危険性を確認しよう

冬には急速に発達する低気圧（爆弾低気圧）や強い冬の気圧配置により、大荒れの天気になることがあります。冬の荒天による暴風雪にどのような危険があるかを確認し、備えておきましょう。

ホワイトアウト

視界が白一色になり、数m先も見えず方向感覚を失う「ホワイトアウト」。天気が急激に変化してわずか10分間でホワイトアウトすることも、歩行困難や低体温症の危険もあります。



吹きだまり

猛吹雪のなかで局所的に風の弱い場所がたまる「吹きだまり」。道路脇の雪の壁や障害物の近くで起こることが多く、積雪20cmでも車の運転は困難になり、立ち往生の危険があります。



暴風による飛散物

看板や屋根などの飛散物で屋外は極めて危険な状況に。小さな飛散物で窓ガラスが割れることも。自宅の雪かき用スコップが飛ばされてしまうことにも注意です。



長期化しやすい停電

暴風雪の影響で電線が切れ、停電が発生することがあります。天気が回復するまで復旧作業ができず長期化すること。照明や暖房が使えなくなるため、屋内での対策が重要です。



FUKKO DESIGN JV (株) 協力: 荒木健太郎 (雲研究者)、近藤肇 (気象予報士)、佐々木晶二 (元内閣防災官房審議官)、市川衛 (医療の翻訳家)

暴風雪で
気をつけること

コロナ禍でも
すぐできる! 冬の荒天への備え2020年版

屋外で暴風雪になったときの対処法

歩行中や屋外作業中のとき

安全な建物内に避難する

近くのコンビニや商店、人家など猛吹雪をしのげる安全な場所にすく移動してください。



低体温症を防ぐ

低体温症になるとわずか数分で意識障害が現れて命が危険になることもあります。

なるべく厚着をして、肌の露出を少なくして頭・首・顔などを保温してください。



飛散物に要注意

小さな飛散物でもケガをします。早めの避難を。



車を運転しているとき

見通しの良くないなかでの運転は大変危険です。道の駅やコンビニに避難し、気象情報や道路情報を確認して天気の回復を待ちましょう。



車が立ち往生したとき

もしも立ち往生したら、後続車からの追突を防ぎ、除雪車の通行を妨げないようにする必要があります。

- ・できれば道路脇に車を移動する
- ・ハザードランプを点灯する
- ・停止表示板を置く



- ・救助を依頼する
- JAFなどのロードサービス、近くの人家、警察・消防など

車内で救助を待つときの注意点

車が雪に埋まると、排気ガスが車内に入って一酸化炭素中毒 になったり、低体温症 になって命の危険があります。救助までに時間がかかる場合には エコノミークラス監視器 の危険もあります。車内の備えを確認して対策しましょう。

原則エンジン停止

中毒から身を守り、ガソリンの確保のためにエンジン停止が確実です。



十分な防寒を

毛布や使い捨てカイロ、寝袋・防寒具で保温しましょう。救助までに時間がかかる場合には、適度な水分補給や簡単な足の体操を。



エンジンをかけるとき

防寒等でやむをえずエンジンをかけるときは、必ず排気口付近を除雪してください。吹きだまりで再び排気口が埋もれることにも注意を。



窓を開けていても絶対安全ではない
風向や窓の開き具合などの条件によっては、窓を開けているときより中毒の危険性が高まる場合もあります。



FUKKO DESIGN JV (株) 協力: 荒木健太郎 (雲研究者)、近藤肇 (気象予報士)、佐々木晶二 (元内閣防災官房審議官)、市川衛 (医療の翻訳家)

暴風雪で気をつけること

コロナ禍でもすぐできる! 冬の荒天への備え2020年版

暴風雪への備えを確認しよう

家の中の備え

大雪・暴風雪時には、**1週間以上**も孤立したり宅配サービスが使えなくなることがあり、停電も長期化することがあります。寒さ対策や生活必需品などを確認しておきましょう。

家の中の備蓄を確認しよう

- 防寒着
- ラジオ
- 飲料水
- 非常食
- 灯油
- 使い捨てカイロ
- スマホ用予備バッテリー
- カセットコンロ
- ポータブルストーブ
- 懐中電灯

雪かき用スコップの準備

自宅の玄関やFF式暖房機の給排気口などは、こまめに雪かきできるようにスコップなどを準備しておきましょう。

スマホ・パソコンを充電しよう

停電に備えてスマホとノートパソコンはフル充電に。ノートパソコンはスマホの充電にも利用できます。

車の備え

天気の急変などにより、車が立ち往生することなども想定して、日頃から車の備えを確認しておきましょう。

雪対策用品を確認しよう

- 防寒着
- 手袋
- 毛布
- スコップ
- 長靴
- タイヤチェーン
- スノーブラシ
- 特に雪の多い地域では
 - スノーヘルパー
 - けん引ロープ

ガソリンを満タンにしよう

天気が悪くなる前に確実に給油しておきましょう。

防災バッグがあると安心

非常時に持ち出せる防災バッグがあれば、車が一時避難所にもなります。

- 飲料水
- 非常食
- 懐中電灯
- 携帯トイレ
- スマホ用予備バッテリー
- 救急箱

コロナ対策のための必需品

- マスク
- 体温計
- アルコール消毒液

© FUKKO・ESIGN・JVQAD 協力：荒木健太郎（雲研究者）、近藤肇（気象予報士）、佐々木晶二（元内閣防災官房審議官）、市川衛（医療の翻訳家）

暴風雪で気をつけること

コロナ禍でもすぐできる! 冬の荒天への備え2020年版

最新の情報を入手しよう

吹雪の情報をうまく集めよう

雪の状況は刻々と変化します。最新の道路交通状況・気象情報を確認して、早めに備えておきましょう。

スマホアプリ

- NHK ニュース防災 防災 ニュース全般
- Yahoo!防災速報 災害情報など
- Yahoo!天気 気象情報

SNSアカウント

住まいの地域の自治体アカウントなどをフォローしておきましょう。

- 自治体 都道府県や市区町村
- 道路交通 高速道路や交通機関

道路情報

やむをえず車を運転する場合には、必ずWebサイトやラジオで道路情報を確認しましょう。ライブカメラなどで道路状況を確認できます。

公共交通情報

暴風雪が予想される場合には、事前に発表される鉄道や航空会社の運休計画を必ず確認しましょう。無理をせずにできるだけ移動は避けましょう。

いまとこれからの雪を確認しよう

気象庁 天気分布予報

今日・明日の3時間毎の降雪量の予報をチェック 出典：気象庁HP

北の道ナビ 吹雪の視界情報

北海道の現在から24時間先までの視界情報、道路情報をチェック 出典：北の道ナビ

気象庁 早期注意情報

5日先までの警報級の暴風雪の可能性が【高】[中]の2段階で発表されます。最新の警報・注意報とあわせて確認しましょう。

参考：気象庁HP発表例

発表時刻	種別	地域	内容	解除時刻
10月1日 12時	暴風雪	北海道	10月1日 18時～10月2日 06時	10月2日 06時
10月1日 18時	暴風雪	北海道	10月1日 24時～10月2日 06時	10月2日 06時
10月2日 06時	暴風雪	北海道	10月2日 12時～10月2日 18時	10月2日 18時

! こんなときは厳重に警戒!

ニュースで以下の言葉を聞いたら、厳重に警戒してください。備えを確認しましょう。

- 気象庁の臨時会見
- 数年に一度の大雪
- 不要不急の外出を控える

© FUKKO・ESIGN・JVQAD 協力：荒木健太郎（雲研究者）、近藤肇（気象予報士）、佐々木晶二（元内閣防災官房審議官）、市川衛（医療の翻訳家）

【プロジェクトリーダー TBWA\HAKUHODO 兼 FUKKO DESIGN 木村充慶 コメント】



例年と比べ、台風の被害も少なく、自然災害に対して、どこか安心している方も多いかもしれません。しかし、冬も油断は禁物です。先日日本海側で記録的な大雪に見舞われましたが、大雪や暴風雪は極めて危険です。雪国では毎年のように被害が報告されていますが、都心などでも大雪になり、大きな被害になることがあります。そこで、前回同様有志のメンバーで「冬の荒天への備え 2020年版」を作ることにしました。今回は毎年雪の被害が大きい北海道で気象予報士として活動しているHBC北海道放送の近藤さんにも入っていただき、雪国の知見もしっかり入れ込んだ対策になるように心がけました。是非ご一読いただき、少しでも冬の荒天への備えをしていただけたらうれしいです。

プロジェクトメンバー

プロジェクトリーダー：木村充慶（TBWA\HAKUHODO／一般社団法人 FUKKO DESIGN）

アートディレクター：上村昌（TBWA\HAKUHODO）

コピーライター：大嶋美月（TBWA\HAKUHODO）

専門家：佐々木晶二（元内閣防災官房審議官）、明城哲也（NPO 法人全国災害ボランティアネットワーク<JVOD>事務局長）、近藤肇（HBC 北海道放送 気象予報士）など

TBWA\HAKUHODO（TBWA 博報堂）について

2006年に博報堂、TBWA ワールドワイドのジョイントベンチャーとして設立された総合広告会社です。博報堂のフィロソフィーである「生活者発想」「パートナー主義」とTBWAがグローバル市場で駆使してきた「DISRUPTION®」メソッドを中心とした独自のノウハウを融合。質の高いソリューションを創造し、クライアントのビジネスの成長に貢献します。「DISRUPTION®」は既成概念に縛られず、常識を壊し、新しいヴィジョンを見いだすTBWA\HAKUHODOの哲学です。マーケティングに限らず、ビジネスにおけるすべての局面でディスラプションという新しい視点を武器に事業やブランドを進化させるアイデアを生み出します。

<http://www.tbwahakuhodo.co.jp>

FUKKO DESIGN について

一般社団法人 FUKKO DESIGN は、「民間ビジネスの力を結集して新たな“復興”をつくる」を活動テーマに、平時のときから行政、民間企業、メディアとのネットワークを構築し、有事の時にすぐにサポートする体制をつくるほか、有事の際の被災地に関する情報発信の支援、復興タイミングにおける地域の魅力発信、企業のマッチングサポート支援などをトータルにデザインしていく団体として活動していきます。

<https://fukko-design.jp/>